

# 野球部の歴史

野球部OB会会長 齊藤 栄(高二十二回)

我が校は、明治三十二年に県西部に第三中学校として創立したが、早くも翌三三年には校友会に野球部費が計上された。しかし、初めて対外試合を行った大正八年を創部の年としている。平成三〇年に創部百周年を迎える。

大正一一年、夏の甲子園予選(関東大会)に初出場した。大正一五年からは北関東大会となり、昭和五年は準決勝に進出した。昭和六年、新チーム結成以来の戦績等が評価され、第八回全国選抜中学校野球大会に出場、埼玉県勢として初めて甲子園の土を踏んだ。最も遠くからの参加校であることから野本主将(中三〇回)が選手宣誓の重任を任せられた。

昭和六年からは北関東大会の予選として、埼玉大会が一二校で開催された。我が校は六〇一〇年と県を制し、六・七・一〇年は北関東大会で準決勝に進出した。昭和一一年からは南関東大会となる。その年埼玉大会で優勝し、南関東大会に出場した。一六年は県大会で準優勝した。二六年県大会ベスト四で南関東大会に出場した。二九年は、一八年ぶりに県大会で優勝し、南関東大会では準決勝に進出した。二八年は、県大会で準優勝し、南関東大会に出場した。三一年秋、県大会準優勝。三三年夏は、四〇回の記念大会で県の優勝校が甲子園出場というチャンスのある年であったが決勝で大宮に敗れた。

夏も優勝、吉田投手は県大会のすべて四三イニングを無失点で投げ抜いた。この年から西関東大会となったが、甲府工に勝ち、念願の夏の甲子園に出場した。甲子園では鎮西を三対一で破るが、高知商には〇対一で惜敗した。その後、夏は、三八年ベスト四、三九、四〇、四二年ベスト八の戦績を残した。秋は四六年に決勝に進出した。

ところで、平成一六年、OBチームの大会である、第一回「マスターズ甲子園」が開催された。一八年、長瀬裕則君(高四十一回)を中心にチームを結成した。そして、二二、二四年と県大会を制し甲子園に出場した。応援部、吹奏楽部のOBもスタンドに結集し、甲子園球場に校歌が流れた。ちなみに、マスターズ甲子園の映画「アゲイン」の主人公の所属チームは「川越学院」だそうだ。現役諸君の健闘を期待している。君たち自身のためにも、卒業生のためにも。



第7回マスターズ甲子園2010全国大会出場記念 2010.11.14

出発前の最後の猛練習を球界の元老、飛田穂洲氏他より受けたが、中京商に〇対一で敗退した。これが中京商の甲子園百数十勝の出発点となった。

その後、新チーム結成と同時に家村相太郎氏(中三四回)が監督に就任した。三四年春、県大会で優勝し関東大会に出場し

二二、二四年と県大会を制し甲



マスターズ甲子園出場祝賀会